小谷小だより

第　９　号
令和５年
12月15日

E-mail:kodani-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

親子マラソン大会を終えて

空気の冷たさに思わず身を縮めたくなる季節となってまいりました。

12 月２日の土曜日は，たくさんの保護者の方が熱い応援をしてくださり，また，一緒に走ってくださり，子どもたちも張り切って走ることができました。大変お世話になりました。

今年度は気象状況や感染症のため日ごろのランニングがあまりできませんでしたが，元気いっぱいに力を発揮し，自身が定めた目標の実現に向け，ゴールめざして走ることができました。

持久走は苦しく，自分自身とのたたかいです。しかし，共に走ってくださる保護者の皆さんや応援をしてくださる保護者の皆さんの温かい励ましをいただいたり，仲間と競い合うことで記録をよくしようとしたりすることで，完走めざして頑張り続けることができました。子どもたちの達成感にあふれた笑顔が印象的な一日でした。

自律をめざして

先日，ニュースを見ていて気になる話題がありました。メジャーリーグでも活躍したイチローさんが，学生野球を取り巻く指導の環境について次のように語りました。

「高校生で自分を導くのは難しい。でも、結局自分しかいなくなっちゃう。だってそういう存在いないでしょ。ということは自分に厳しくせざるをえない。（中略）でもそれを重ねていったら、大変で挫折することもあると思うけど、そうなれたらめっちゃ強くなる。でも、導いてくれる人がいないと楽な方に行くでしょ。自分に甘えが出て、結局苦労するのは自分。厳しくできる人間と自分に甘い人間、どんどん差が出てくる。（中略）でも自分を甘やかすことはいくらでも今できちゃう。そうなってほしくない。いずれ苦しむ日が来るから。大人になって、社会に出てからも必ず来る。できるだけ自分を律して厳しくする。」

このことは，子供たちの自主性・自発性や褒める教育を主とする現在において，「自律した個」の育成の重要性を示しているように感じます。大切なのは，「自律」の重要性を大人たちが共有し，子供たちにどう伝え，どうその力を育成していくかだと思います。

ご家庭でも話題として取り上げ，保護者としての思いを子供たちと話し合ってみてはいかがでしょうか。

出会い・縁の大切さ

11 月 24 日，北海道から来校された方が，一つの水彩画をご持参くださいました。この方は，戦後の昭和 21 年度の小学校４年生から卒業までを小谷小学校で過ごされ，現在は札幌にお住まいだそうです。水彩画は，卒業後もずっと交流のあった６年の時の担任：水越先生からいただいたものだそうで，この度，先生が教鞭をとられた小谷小学校に寄贈しようということで持ってきてくださったということでした。

当時の懐かしいお話をたくさん伺うことができました。また，水越先生の影響で，いまだに水彩画を描かれているということで，出会い・縁の大切さを改めて感じさせていただきました。

今年も残りあとわずかとなりました。保護者・地域の皆様のご支援・ご協力に心から感謝いたします。

新しい年が笑顔の多い一年になりますように！

校長　山田　　隆